

会 議 録

日	令和6年11月27日(木)	時間	13:30~15:00	場所	糸魚川市役所 201、202 会議室
件名	議事 (1) 第3期子ども・子育て支援事業計画の策定について (2) 保育園等の適正配置と民営化に関する方針について (3) その他				
出席者	【委員出席者】 13人 山本(裕)会長、松本副会長 伊藤委員、陸川委員、山本(悠)委員、中村委員、清水委員、山田委員、藤田委員 井伊委員、室川委員、神田委員、黒坂委員 【委員欠席者】 小野委員 【事務局】(教育委員会事務局) 6人 山本教育次長、古川こども教育課長 室橋こども課長 田村課長補佐 飛弾野係長 能登主査				
	傍聴者定員		一人	傍聴者数	0人

会議要旨

1 開 会 教育次長

2 議 題

(1) 令和6年度「子ども・子育て支援事業計画」の策定について

(委員) 第2期のパブリックコメントでは、いくつぐらいの意見が集まったのか。

→ (市) 数件程度の意見があった。

(委員) 計画の事業目標等は具体化していき、PDCAサイクルで進捗管理をしっかりと進めてほしいが、どのように考えているか。

→ (市) 事業計画については、毎年、子ども・子育て会議において実績を報告したい。

(2) 保育園等の適正配置と民営化に関する方針について

(委員) 保育園等の民営化ありきなのか。

→ (市) ありきでないが、これまでの経過も踏まえて対応していきたいと考えており、民間でできることは民間に担っていただきたいという行政改革の考え方も進めていく必要はある。

(委員) 保護者の不安に対しては、丁寧に説明してきてほしい。保護者の不信感がでてはいけない。異動がない私立保育園における保育士の固定化による弊害なども聞かどうが。

→ (市) 基本方針案をもって、保護者へ丁寧に説明、懇談したいと考えている。保育士の固定化は、良い点もあれば悪い点もあると思う。

(委員) 公立保育園の民営化が可能なのか。国の方針などが何かあるのか。

→ (市) 国では保育園の認可にあたって60人を基準としている。市では60人以上の利用定員の保育園の保護者に説明、懇談したいと考えている。

(委員) 民営化モデルとはどういうことか。

→（市）現在ある公立保育園のなかから、民営化する園をモデル園として定めたい。その園の保護者等に説明しつつ、公私連携型の運営形態によって協定等の締結により、これまでの園の運営など市の関与ができるようにしたい考え。

（委員）昔の児童クラブは自由度が高く、良かったという声も聞く。マニュアル等も整備されているか。昔と今では利用の年代層に違いもあると思う。

→（市）令和2年度に児童クラブを民営化している。大手の事業者から担っていただいているが、利用者アンケートでは9割近い利用者から満足いただいている状況。保育園の民営化に関しては、まずは市内事業者から手を挙げてもらいたいと考えている。

（委員）以前に、子どもが児童クラブを利用していたが、いろいろあって行かない状況になっていた。昔と違うようであれば、アンケート結果やクラブの状況などがわかるようなものを保護者に伝えてもらいたい。

→（市）民間委託の良い事例と考えている。アンケート等の結果の公表に努めたい。

（委員）児童クラブでは、民間で研修をしていないのか。

→（市）障害を持つ子などの対応など、行政よりも研修は充実している。また、相談ができる専門家も事業者内にいる。

（委員）民営化を進めることが色濃く資料にでている。私立を含めた適正配置も進める必要があるのではないか。

→（市）民営化は行政改革にも議題としてあげられており、市議会からは民営化を進める意見の方が多いと感じている。

（委員）保育料はどうなっているか。

→（市）保育料は、世帯の所得に応じて段階的に設定されている。現在は、3才以上児は無料となっている。

（委員）保護者の不安の解消に努めてほしい。

→（市）糸魚川市で子育てしやすい環境整備に努めたい。

（委員）保護者の集まりでは、保護者の本音を聞ける場になるようにしてほしい。

→（市）保護者と一緒に考えていきたい。

2 その他

（委員全員）＝その他、意見なし＝

（市）次回以降の開催について、次回は3月18日を予定。